

日時：10/1 16:00～18:00

場所：インターリスク総研様 駿河台ビル2F（201会議室）

出席者：

株式会社野村総合研究所	伊藤様（座長）
株式会社イー・アール・エス	水越様
株式会社インターリスク総研	小山様
H I S コンサルティング	久富様
エヌ・ケイ・リスクコンサルティング株式会社	中様
グラクソ・スミスクライン株式会社	高橋様
有限会社シー・エム・エス	矢作様
ジブラルタ生命保険株式会社	松澤様
鈴与株式会社	渡邊様
株式会社テクノトレイン	中山様
株式会社レスキューナウ	市川様
株式会社レックスマネジメント	秋月様
株式会社ワンビシアーカイブズ	太田様（オブザーバー参加）
株式会社セイコーエプソン	生田目（文責）

●本日ゴール

研究テーマの設定
実施/検討体制の検討
今後のスケジュール

●結論

次回までに各自で訓練項目についてアイデアを出し合う。
項目の棚卸しをした上で、項目毎に分担をし具体的な実施方法について検討する方向で議論を進める。

●意見交換

【訓練計画策定時の困難課題】

- ・一社だけではなく、帰宅訓練等地震対策と共通した部分では合同でできないか？
- ・パンデミック訓練を Desk Top Simulation ベースでやってみたが、機能しなかった。
方法論含め、どういう形で計画しどの部署を巻き込むか？
成功事例をお聞きしたい。
- ・部分的な訓練を繰り返すことを考えている。
前回在宅訓練で Network アクセスができたかの確認はした。
災害対策本部メンバーのロールプレイを次回実施する予定だが、やはり全社での訓練となると難しい。
- ・Simulation シナリオ、評価ツールはあるが、評価が弱い。
- ・日本の Phase では4 A～6 Bまでであるが、準備できるシナリオは～4 Bまで。それ以上になると実社会がどうなるのかがわからない。
- ・望ましい行動、正しい手順が明確になっていなければ訓練の評価はできない。
・企業にとって最終的な望ましいシナリオは、社会機能維持業務を継続しつつ大多数の人間が無事に免疫を獲得することではないか？
であれば、複数回の流行の波を経てパンデミックが終息あるいは全国民がワクチン接種するまでのシナリオを考える必要がある。
- ・被害想定を検証や社会現象の把握という意味合いからも” Street Wide 訓練の検討”も必要ではないか？

- Street Wide 訓練も必要と思うが、Output の妥当性が確認できてからではないか？
- ・統一した指標が必要
 - ex.出勤率・・・各社の対策により異なる。
 - 外部要因の列挙が必要
- ・研究会の中でやること：Practical なものになるのではないか？
 - メンバーで仮想会社を設定し、想定を作る。
- ・BCP 訓練は、8割がたは実行できていないのではなかろうか？
 - 理由：計画・実施の詰めが甘い。
 - 担当が他者から徹底して突っ込まれる経験が少ないため、言い切れない。
 - 説得力に欠ける。
- ・優先業務の定義が不明確。
 - 問題点をわからしめる訓練はできるが、訓練が実働するのか不安
- ・Simulation の想定付与で困っている（人によって意見がある）。
 - 地震 BCP 作成時、Simulation を繰り返して作っていった。
 - まずは社内の現状確認的な訓練から始めるのが妥当ではないか？
- ・第一波を何とかしのぐをテーマに訓練を行った。
 - 1：計画が機能するかを Desktop Simulation で検証
 - 2：計画の中の施策が動かせるか個別に検証
- ・訓練計画策定には、Incident Command System の考え方が有効。
 - 1：対応内容を List Up
 - 2：課題、やることの List Up → 大変さの認識が出てくる。
 - 3：考えていくと勝手に BCP が出来上がる。
- ・訓練目的
 - 1：慣れる
 - 2：問題を見つける
 - 3：ストレス部分（弱いところ）を見つける
 - 4：対策を Feed Back
- ・社内対策で終わってしまっている。
 - 社内：Mobile 化 100%
 - 24h/365 日稼動 Shift 体制 OK
 - 対策メンバーの近隣居住化済み
 - 社外：マスクの付け方、外し方など、細かな実作業が徹底できていない
 - 家族の役割検討など、社外では徹底できていない
 - SC への要求ができていない（できない）
 - 規定（ISO）監査との不整合への対応ができない
- ・業態、勤務形態はさまざまなので、部署別、パート別にやったほうがよい。
 - 訓練の目的としては、習熟度の向上と考えるとよい。
- ・コンサルタントとしての訓練
 - 意識向上 Tool
 - 機能の訓練（体を動かさせる）
 - 目的を整理しながら進めていく
 - 注意点：想定シナリオ設定上の誤解を解消する
 - 訓練目的を整理する

【この研究会に期待すること】

- ・訓練項目（パーツ）をまとめ、雛形を作っていただきたい。
 - 予防方法
 - 業務意思決定基準
 - 社員健康確認方法
 - Risk Communication など